



日刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (DC会館)
鉄 電 千葉 2 9 3 5 ・ 2 9 3 9 番
公 衆 043 (222) 7207 / FAX.043 (224) 7197
ホームページ http://www.doro-chiba.org/
Eメール doro-chiba@www.doro-chiba.org

2001.8.23 No.5360

大量首切りと労働運動破壊の小泉政権 新たに300万人の失業を生む「構造改革」許すな

「自民党を変えて、日本を変えろ」と大見えをきり、あたかも「改革の旗手」であるやのようなベテンを駆使して登場した小泉首相は、日を追うごとに、その地金をむき出しにしている。靖国神社参拝強行にも見られるように、戦犯から、被爆者、沖縄戦の死者まで一緒にして「英霊」とまつりあげ、再び労働者人民を戦争に駆り出そうとする極右政治家である。

今号では、小泉が強調する「痛みを伴う構造改革」について、その正体・狙いを暴露断罪する。その第一は「構造改革なくして景気回復なし」というベテンである。

「景気回復」ところか 経済危機一層の深刻化

まず事実として、日本の景気は九七年以来の危機を一層深刻なものにしている。小泉は六月二六日、「不良債権問題を二〜三年以内に解決することを目指す」と公言している。しかし不良債権は政府関係者ですら認めているように、「経済の停滞に伴って、新たに発生する」ものであり、日々増え続けている。こうした不良債権処理で、この間大銀行救済のため莫大な資金を投入し、さらにこれから熊谷組

・間組など大手ゼネコンの救済に乗り出さなければならぬというのだ。

小泉の「聖域なき構造改革」に今、多くの有識者、学者等々から批判が数多く出されてきているように、労働者、人民に犠牲をすべて押しつけて、大銀行と大企業を救済するものであり、「痛みを耐えろ」とは、労働者にリストラと大失業、福祉切り捨て、大増税を強制する以外の何ものでもない。また小泉の持論である「郵政事業の民営化」や、特殊法人・特殊会社の廃止や民営化など、公務員労働者をはじめとした大リストラ攻撃を狙っており、「聖域なし」と

は全労働者にたいする攻撃としてあるのだ。

不良債権処理で 一三〇万人の失業者が

民間の研究機関の試算によると、小泉の言う不良債権処理が実行された場合、中小企業の倒産は二十万から三十万件に上り、失業者は一二〇万人から一三〇万人と予測され、連鎖倒産やリストラを含めると、二〇〇万人から三〇〇万人が失業に追いやられるとしている。政府発表ですら、すでに日本の失業率は四・九%であり、このまま推移するならば一千万人をこえる労働者

が失業を強制される。

小泉は、これに対し「痛みを耐えろ」と言い放っているのだ。

さらに小泉は、大量失業者の発生に備えるとして、「自己啓発、社会人の再教育・再訓練、派遣制度の規制改革……」と、要するに失業した労働者は職業能力がないから再教育・訓練するとして、すべてを労働者の責任に追いかぶせようとしているのである。加えて「有期雇用契約、裁量労働制、派遣制度の見直し」が言われている。有期雇用とは、これまでの終身雇用制度に変わって、期限を切った雇用契約をさまざまな業種に拡大し、いつでも「契約打ち切り」で解雇できる制度に変えようとしている。労働者を不安定な雇用を強制し、中小企業をうバタバタ倒産させ、大企業の生き残りをはかろうとする攻撃が「小泉改革」の正体である。

JR東日本の「ニューフロンティア21」計画は、「小泉改革」の先取的攻撃である。われわれは、「ニューフロンティア21」・第二の分割・民営化攻撃を粉砕と「小泉改革」粉砕を、ひとつながりの課題として全力で闘いぬかなければならない。

小泉首相の靖国参拝弾劾、八・一五集会開催

8月15日、「許さない、侵略の美化―靖国・教科書 八・一五労働者市民のつどい」が五二〇名の参加で中野ZERO小ホールで開催された。

集会は、「消えた二四七七七人―南京大虐殺の真相を追って」のビデオ上映と制作者の森正孝さんの解説、西川重則さんの「天皇の神社・靖国」と高橋哲哉さんの「天皇制と二十一世紀の歴史認識」の二つの講演を中心にコントや「つくる会教科書」の採択を阻止した杉並のたたかい、司法改革攻撃とたたかう弁護士、「四党合意」とたたかう国鉄労働者、九・一自衛隊治安出動に反対する在日朝鮮人の人たちが闘いの報告がされた。また、十五日午前には、13日の小泉の靖国参拝に抗議する反戦共同のデモに参加し闘いぬいた。